

## 2022年度 個人研究実績・成果報告書

2023年 4月 24日

所属	商経学部	職名	准教授	氏名	サムエル・ギルダート
研究課題	日蒙経済関係：モンゴル経済事情と日蒙 EPA の研究				
研究キーワード	金融機関、国際経営、 貿易関係、FTA、地域研究	当年度計画に対する 達成度	4.当初の計画どおり研究が進まなかった		
関連する SDGs項目	1. 貧困をなくそう	7. エネルギーをみんな に そしてクリーンに	9. 産業と技術革新の基 盤をつくろう	10. 人や国の不平等をな くそう	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>本研究では、日本とモンゴル貿易関係また、モンゴルの経済事情と日蒙 EPA (Economic Partnership Agreement：経済連携協定) の視点から日蒙関係について焦点を当てている。具体的には、貿易の関税緩和や資源開発援助とインフラ発展(新ウランバートル国際空港、新しい道路)などである。研究の特性上、モンゴル経済に関係の深い人物へのヒアリング調査や現地で収集可能な文献の調査がメインとなる。ところが、本年度は、新型コロナウイルスの影響により、全ての計画が当初通りすすまなかった。</p> <p>さらに、オンライン授業の準備のために多くの時間が割かれ、満足のいく研究成果が出せなかった。2023年度は、個人研究費を有効に利用し、成果を上げる予定である。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等(査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)</p> <p>【論文(査読あり)】</p> <p>(1) 国際学会：The 19th Annual CamTESOL Conference on English Language Teaching Institute of Technology of Cambodia (ITC)にて、2023年2月17-19日まで開催された The 19th Annual CamTESOL Conference on English Language Teaching で「Trends in Japanese University Students' Motivation for Study Abroad within a Pandemic/Post-Pandemic Environment」について発表した。</p> <p>【著書・論文(査読なし)】</p> <p>(1) その他の論文(査読なし)</p> <p>特になし。</p> <p>3. 主な経費</p> <p>学会発表、関連書籍の購入や文具代に使用した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項(表彰、研究資金の受入状況等)</p> <p>特になし。</p> <p>【外部資金】</p> <p>特になし。</p>					
(本文は2ページ以内にまとめること)					